

都道府県	選挙区	候補者名	政党	即時原発ゼロ、自然エネルギー100%に参は○否は×	原発ゼロを目指す(即時とは限らず)	即時ゼロにすべきである	即時ゼロは現実的ではないので期限をきってゼロに向けた行程を作成する	新設も再稼働も認めずゼロを目指す	新設は認めないが住民が賛同すれば再稼働は認める	再生エネルギーを推進するが代替エネルギーとして見通しがたつまでゼロにはできない	再生エネルギーを推進しつつもゼロにすることを優先的に行う	コメント
北海道	1	船橋 利実	自民									
北海道	1	通下 大樹	民主									
北海道	2	松木 謙公	希望	○	○		2030年まで	○				
北海道	2	小和田 康文	維新									
北海道	2	金倉 昌俊	共産									
北海道	2	吉川 貴盛	自民	×	×							原発依存度については、再生可能エネルギーを最大限導入し可能な限り低減させます。この方針のもと、原子力については安全性を最優先に重要なベースロード電源との位置付けのもとに活用し、原子力規制委員会が世界最高水準の新規制基準に適合すると認められた場合のみ地元の理解を得ながら原則として原発ゼロに賛成だが、即時ゼロは困難という立場。 2030年代原発ゼロを目指し、再エネ推進のためのインフラ整備(蓄電技術のイノベーション、スマートグリッドの普及など)を進める。再稼働は①国が責任を持つ実効性ある住民避難計画の策定、②地元自治体の同意(法制化を進める)、③観安全基準で
北海道	3	荒井 聡	民主	×	○		○2030年まで					
北海道	3	高木 宏寿	自民									
北海道	4	本多 平直	民主									
北海道	4	中村 裕之	自民									
北海道	4	高橋 美穂	希望									
北海道	5	池田 真紀	民主	無回答	○		1日も早く			○		一日も早い原発ゼロ社会の実現に向け取組みます。特に北海道は豊富な自然エネルギーを活かし、エネルギーの地産地消を進めます
北海道	5	森山 佳則	幸福									
北海道	5	和田 義明	自民	×	×							エネルギー基本計画を踏まえ、徹底した省エネ、再生可能エネルギーの最大限の導入、火力発電の高効率化等により、原発依存度を可能な限り低減させます。 原子力は安全性の確保を大前提に、エネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源との位置付けのもとに活用します。
北海道	6	今津 寛	自民									
北海道	6	佐々木 隆博	民主									
北海道	7	伊東 良孝	自民									
北海道	7	石川 明美	共産									
北海道	8	邊坂 誠二	無所属	○	○	○	5年以内					
北海道	8	前田 一男	自民									
北海道	9	山岡 達丸	希望									
北海道	9	堀井 学	自民									
北海道	9	松橋ちはる	共産	○	○		3年以内	○		○		
北海道	10	稲津 久	公明									
北海道	10	神谷 裕	民主	送付不可								
北海道	11	石川 香織	民主	○								北海道は自然エネルギーの宝庫です。私の選挙区である十勝・帯広においても、エネルギーの地産地消を進めます。
北海道	11	中川 郁子	自民									
北海道	12	武部 新	自民									
北海道	12	水上 美華	希望									
北海道	12	菅原 誠	共産	○	○			○				新設も再稼働も認めなくても電力は足りています。
北海道	比例	畠山 和也	共産	○	○	○		○		○		菅連盟の御意見に同感です。付け加えれば、核のごみ処理も決まらず、避難計画も曖昧なままの再稼働は、言語道断です。原発を稼働しなくても電力は足りています。福島の原因もわからず、核のごみ処理も決まらないままの再稼働は、言語道断です。